栗原市立栗原中央病院
広報誌　令和６年１１月発行
編　集　地域医療連携室

病院の理念

わたしたちは、患者さまを第一に考え、いのちを大切にする最善の医療を行い、地域に貢献します

基本方針

わたしたちは、患者さまのことを考え、いのちを大切にします

1．市民から信頼される、安全な医療を行います
2．良質な医療を行うために、つねに新しい知識と技術を身につけるように努めます
3．地域のニーズに合った医療を提供することで、地域に貢献できる病院をめざします
4．地域の医療の中心として、ほかの医療機関との連携に努めます

地域医療と連携

地域医療連携室副顧問
臨床研修センター長兼呼吸器内科部長　宇佐美　修

COVID-19 が５類感染症となってから、診療体制は落ち着きを取り戻しつつあります。その後、2024 年３月に６年ぶり診療報酬の大幅な改訂が実施されました。今回の改訂は診療報酬が２年ごと、介護報酬が３年ごとに改訂されるサイクルが重なった年にあたります。厚生労働省によると、今回の改訂の主な内容は以下の通りです。

1）物価高騰や賃金上昇、経営状況、人材確保の必要性、患者負担および保険料負担の影響を考慮した対応。

2）全世代型社会保障の実現、医療・介護・障害福祉サービスの連携強化、新興感染症等への対応など、医療を取り巻く課題への対応。

3）医療 DX やイノベーションの推進を通じた質の高い医療の実現。

4）社会保障制度の安定性・持続可能性の確保および経済・財政との調和。

この改訂内容が当院にどのような影響をもたらすのでしょうか。

1）物価や消費税の上昇は、病院の支出増加につながります。収益の柱である診療報酬は増加したものの、物価上昇を完全には吸収できない状況です。病院経営は固定費が多く、インフレに弱い特性があり、今回の改訂は病院経営にとって厳しい内容となっています。

2）当院は栗原市の中核病院として、全世代に対応することが求められています。特に小児科に注力することで、地域の人口減少を抑制することを目指しています。また、高齢者施設や在宅医療との連携を強化し、高齢者が安心して過ごせる体制の構築に努めて参ります。

3）医療 DX により、医療機関間の連携促進や、人手不足の解消に向けた業務フロー改善効果を期待しています。

4）公立病院であっても、現在の財務体質が持続することは望ましくありません。しかし、単なるコスト削減は現場の負担を増やす可能性があるため、地域連携と業務の効率化を図りながら対応していきます。

最後になりますが、臨床研修センター長として、職員の皆様が日々の業務を快適に遂行できるよう、最大限の努力を尽くしてまいります。

部署紹介　【　研修医室　】

２年目	１年目
相　澤　雅　也	坂　本　尚　輝
江　戸　雄　星	佐　藤　　努
佐　藤　彰　紀	樋　野　琢　馬
佐　藤　祐　真	松　山　　純
木　下　英　尊	渡　辺　智　文

栗原中央病院では、平成２２年度より初期臨床研修医の受入れを開始し、現在１０名が勤務しています。

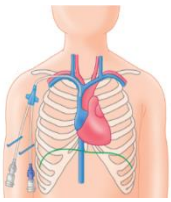
日々、指導医の指導のもと、真剣に仕事に取り組んでいます。地域の医療に貢献できるよう２年間の研修を頑張っています。

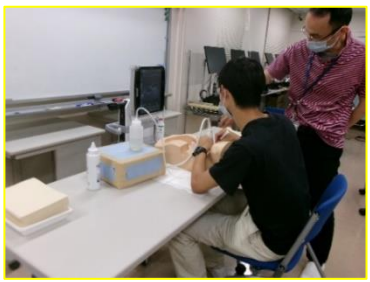
＊ 研修医レクチャー ＊

＊NPPV セミナー ＊

＊ 職員健診（採血）＊

＊CVC セミナー ＊





内科医師ご紹介

令和６年１０月１日付採用

内科　副医長　齋藤（さいとう）　悠（ゆう）

10 月より赴任となりました齋藤悠です。専門は呼吸器内科となります。標準的でかつ個人の環境にあわせた診療を心がけて、栗原市の医療に貢献できるよう努めて参ります。どうぞよろしくお願いします。

内科　副医長　齋藤（さいとう）　直美（なおみ）

2024 年 10 月より赴任いたしました齋藤直美です。
地域の皆様に寄り添い、心を込めて診療して参ります。どうぞよろしくお願いいたします。

内科　副医長　本多（ほんた）　赳善（たけよし）

丁寧な診療を心掛けていきたいと思います。何卒よろしくお願い申し上げます。

がんサロン「サロン de よらいん」報告

がんサロン「サロン de よらいん」は、がん療養中の方やご家族、がん体験者が集まり、お互いの体験や気持ちを語り合い支えあう場所です。

令和６年９月１０日（火）のがんサロンは、アクセサリー作りを行いました。様々な力を秘めている天然石を選び、パーツを組み合わせて世界に一つだけのアクセサリーを作りました。少し細かな作業で苦戦した参加者もいましたが、協力しながら作品を仕上げていました。

出来上がったイヤリングをつけた参加者は、キラキラした笑顔だったり、恥ずかしそうな笑顔だったりとお互いの作品を鑑賞していました。

今後も心温まるサロンの場を提供していきたいと思います。

各種研修会

【令和６年度　医療安全報告会】　令和６年１０月２日（水）

テーマ『確認エラー』『患者誤認』

◎『確認エラー』『患者誤認』における対策や課題について、７部署のスタッフが発表を行いました。各部署からの対策や課題から、ちょっとした確認ミスや思い込みが重大なインシデントにつながるということが、わかりました。地域連携は外部連携が多いので、日々意識しながら業務に当たりたいと思いました。

【令和６年度　医療安全研修会】　令和６年１０月１１日（金）

『病院内で発生するトラブルとその対処法～こんなときどうする？～』

蒼法律事務所　医師・弁護士　長谷部　圭司　先生

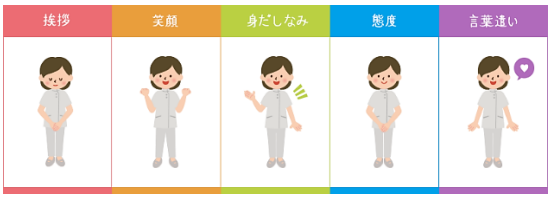
◎様々な事例をもとにご講話いただき、イメージしやすい研修会でした。様々なトラブルに対し的確に迅速に対処することでトラブルを大きな問題に発展させないことが重要とのお話でした。

【2024 年医療接遇オンラインセミナー】視聴

基礎編

①患者さんの立場になって　②第一印象の重要性

③接遇基本マナー５項目　　④「電話応対の基本」振り返り



確認編

①信頼関係を構築するために　②「アクティブリスニング」と「アサーション」

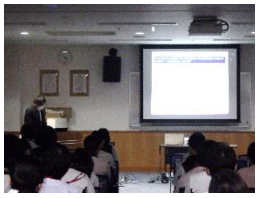
③良好なコミュニケーションに必要な「共感力」　④イキイキとした職場環境をつくるために

【保険診療研修会】　令和６年１０月２５日（金）

『保険診療について』

株式会社ニチイ学館　医療関連事業部

事業推進部　事業推進課　エキスパート　加藤　直樹　先生



◎診療事実を適切に記載していなければ、診療報酬請求の根拠が確認できないため、不正請求の疑いを招くことがあるため、診療録は適切に記載する必要がある。また各種関係法令・療養担当規則の規定を遵守し、診療報酬点数表に定められたとおりに請求することが重要とのお話でした。

【編集後記】

晩秋の冷気が身にしみる、冬の訪れを感じる季節となりました。「〇〇の秋」から連想される言葉はたくさんありますが、当院は様々な研修会が開催され、「学びの秋」となりました。今後も学びを大切にし、業務に従事して参ります。

栗原市立栗原中央病院

〒987-2205

宮城県栗原市築館宮野中央三丁目１番地１

（代表）TEL：0228-21-5330　FAX：0228-21-5350

地域医療連携室

（直通）TEL：0228-21-5335　FAX：0228-21-5336

https://www.kurihara-central-hp.jp/